

線001	項目名	水道管移設工事費(繰越)		
主要な施策	施設管理費	ページ	53	所属名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名	簡易水道事業費特別会計			
款	簡易水道費			
項	簡易水道費			
目	簡易水道管理費			
(単位：千円)				
前年度最終予算額	96,662			
本年度繰越予算額	10,680			
本年度決算額	9,684			
財源内訳	その他財源の内訳			
	分担金	0		
	負担金	0		
	使用料	0		
	手数料	0		
	財産収入	0		
	寄付金	0		
	繰入金	0		
	贈収入	5,754		
	その他	30		
区分	決算額			
国・県支出金	0			
地方債	3,900			
その他	5,784			
一般財源	0			
計	9,684			
評価結果	今後も、移設工事は随時出てくると思われるが、適切に対応し、住民へ支障のないように早急に対応していきたい。			
事業の概要 【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246 【9次総の施策体系】4201 【事業の概要】 他の公共事業等により支障となる水道管の移設工事を実施した。 ・上砂見地区送配水管移設工事 ・明治簡易水道配水管移設工事 【予算繰越理由】 鳥取県施工の本体工事の遅れにより移設工事を完了することが困難となったため。 【事業の成果】 ・上砂見簡易水道配水管移設工事 決算額 8,834千円 ・明治簡易配水管移設工事 決算額 850千円 【今後の課題・方向性】 今後も他の公共事業等で発生する水道管等の移設工事については、移設補償費等により工事実施し、機能確保を図る。 ※その他財源の諸収入は、移設補償費 ※その他財源のその他は、前年度繰越金				

線002	項目名	福部地域簡易水道整備事業費(繰越)		
主要な施策	施設建設費	ページ	53	所属名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名	簡易水道事業費特別会計			
款	簡易水道費			
項	簡易水道費			
目	簡易水道建設費			
(単位：千円)				
前年度最終予算額	169,778			
本年度繰越予算額	80,510			
本年度決算額	75,538			
財源内訳	その他財源の内訳			
	分担金	0		
	負担金	0		
	使用料	0		
	手数料	0		
	財産収入	0		
	寄付金	0		
	繰入金	0		
	贈収入	0		
	その他	138		
区分	決算額			
国・県支出金	0			
地方債	75,400			
その他	138			
一般財源	0			
計	75,538			
評価結果	引き続き年次的に整備を行いたい。			
事業の概要 【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246 【9次総の施策体系】4201 【事業の概要】 福部地域の『湯山簡易水道』『福部中央簡易水道』内の複数の水源水質が悪化しており、これら2簡易水道を上水道の丸山系統に編入するため、年次的に整備を行う。福部地域には大規模観光地があり、水質悪化が鳥取市に与える影響が甚大であるため、施工優先順位は応急給水を可能にする管路を優先する。 <事業期間> 平成23年度～平成29年度 【予算繰越理由】 地元関係者との調整に不測の日数を要したため。 【事業の成果】 水道局への事務費 3,348千円 測量設計等業務 12,262千円 配水管布設工事 L=1,392m 59,928千円 【今後の課題・方向性】 水道局移管後、すみやかに上水道丸山系統へ編入したい。 ※その他財源のその他は、前年度繰越金				

線003	項目名	今市勝谷簡易水道整備事業費(繰越)
------	-----	-------------------

主要な施策	施設建設費	ページ	53
-------	-------	-----	----

所属名	農林水産部 農村整備課
-----	----------------

年度	H26
----	-----

事業の概要

会計名	簡易水道事業費特別会計
款	簡易水道費
項	簡易水道費
目	簡易水道建設費

【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246

【9次総の施策体系】4201

【事業の概要】
鹿野地域の『今市勝谷簡易水道』の今市系統には、公共施設や病院・宿泊施設等の施設が多いにも関わらず、配水池容量が約950m3分不足している。現在の今市配水池は老朽化してしている上に容量が小さいため、送配水管兼用という特殊な配水方法を併用せざるを得ない状況に陥っている。この配水方法では水源地取水井からの砂礫類をそのまま配水してしまい、病院等のメーター一部を閉塞させてしまうような弊害まで発生している。当該整備内容は合併前の鹿野町時代に、既に事業認可されていた内容であり、早期の整備完了が急務である。
〈事業期間〉平成25年度～平成31年度

【予算繰越理由】
配水池建設候補地に関する検討（用地買収、急傾斜地崩壊危険箇所への建設、埋蔵文化財の確認）に不測の日数を要したため。

【事業の成果】
測量設計調査業務 26,329千円

【今後の課題・方向性】
気高第6簡易水道の飯里系統との統合を予定している。

※その他財源のその他は、前年度繰越金

(単位：千円)

前年度最終予算額	26,400
----------	--------

本年度繰越予算額	26,400
----------	--------

本年度決算額	26,329
--------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	29

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	26,300
その他	29
一般財源	0
計	26,329

評価結果	平成29年度水道局移管後、さらに近隣簡易水道との配水管接続により、安定供給を目指す。
------	--